①研究課題名	ドクターヘリ活動において救急隊による病院選定が活動時間に与える影響: 単施設後ろ向き観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2021 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、新潟県新発田地域広域消防本部管内よりドクターヘリ要請され、新潟県立新発田病院へ搬送された患者全例（約 300 例）を対象とします。過去の同様の研究はありません。	
③概要	
ドクターヘリは日本最初事業の開始から 20 年以上を経過し、重症患者のもとへ救急医が駆けつけることによる治療開始時間の短縮、遠距離搬送を必要とする地域での搬送時間短縮による生命維持に大きな成果をあげています。新潟県東部ドクターヘリも 2012 年の運航開始から年々要請数が増しており、需要は増大する一方にあります。救急隊と同時にドクターヘリが現場直近まで向かうことは、広大かつ救命救急センターまでの距離が遠い新潟県において救急医療に精通した医師が診療開始するまでの時間を大幅に短縮していますが、その一方で要請数の増加に伴い、救命救急センターからそれほど離れていない地域からの要請も増えています。ドクターヘリスタッフが接触することで、初期診療開始までの時間が短縮されていても、根治的治療が可能となる病院到着時間が遅れているという懸念が生じている状況です。 今回、救急隊とドクターヘリが協調して活動を見直すことで、救命救急センターから比較的近い地域での救急隊とドクターヘリの連携方法について検討し、ドクターヘリ運用の適正化について明らかにします。	
④申請番号	2024-0216
⑤研究の目的・意義	救命救急センターから比較的近い地域での救急隊とドクターヘリの連携方法について検討し、都市部におけるドクターヘリ運用を効果的に行うための案について明らかにします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	2021 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、新潟県新発田地域広域消防本部管内よりドクターヘリ要請され、新潟県立新発田病院へ搬送された患者全例（約 300 例）を対象とします。 使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、救急要請場所、要請内容・搬送手段、搬送先、活動時系列（消防覚知時刻・ドクターヘリ要請時刻・救急隊現場到着時刻・救急隊現場出発時刻・ランデブーポイント到着時刻・ランデブーポイント出発時刻・病院到着時間）・初診時重症度について調査しま

	す。
⑨利用の範囲	新潟大学医学部　救急医学分野　出内主基　上村夏生　山口勝一朗　西山慶
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部　救急医学分野　出内主基
⑪お問い合わせ先	住所　〒951-8510　新潟市中央区旭町通一番町 757 番地 電話番号　025-227-2338 所属 新潟大学医学部　救急医学分野　氏名　出内　主基